



R I. 第2620地区 静岡第2分区  
三島西ロータリークラブ

# 週報

第1742号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F  
TEL (055) 976-6351 FAX 976-6352  
例会場 静岡県三島市本町14-31 みしまプラザホテル  
TEL (055) 972-2122  
会長 岩崎 守幸 幹事 飯田 守



広重版画より 三島 朝霧

## 第1804回例会

2009.8.20晴

### 司 会

森崎祐治君

### ロータリーソング

「それでこそロータリー」  
指揮 前田房江君

### 会長挨拶

副会長 矢野敏夫君

立秋が過ぎ、暦の上では秋に向かっていますが、まだまだ暑い毎日が続いています。皆様はこの夏休みはどのように過ごされましたか？

さて先週の火曜日(11日)早朝に地震があり飛び起きてしまい、一日中調子が悪かったのを覚えています。

この地震に対する耐震構造の偽装事件により、建築基準法が改正され建築審査の厳格化によって、それまで増加の傾向にあった住宅着工件数は減少に転じてしまいました。一時的に回復気調を示したものの昨秋以降の急激な景気後退により再び減少に転じ、今後、雇用情勢、家計の所得環境の悪化が続けば更に減少傾向が続くものと思われます。

建設経済研究所が先月末に発表した建設投資の見直しによると、09年度の住宅着工予測が対前年度比6.5%減の97.1万戸と、100万戸割れを記録したのはなんと43年前の1966年度まで遡るとの厳しい予測をしています。

ただ、不況からの反動増や住宅ローン減税など経済対策効果が現われれば、今後下半期は回復傾向を示して、100万戸超のペースに戻ることも考えられます。

また不動産マーケティングの民間調査によると、値引き販売等で価格下落傾向にあったマンション価格も、価格調整が進んだことや上記経済対策の効果があれば、本格的な回復には至らないまでも、再びマンション価格が上昇するのではと予測しています。

いずれにしても、少子化などによる市場の縮小はあるものの、早く景気が回復して上記厳しい予測を吹き飛ばしてほしいものです。

### 出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	44/51	86.27%	48/51	94.12%
今回	46/51	90.20%	会員総数	55名

欠席者 井上君、遠藤(正)君、北澤君、花房君、矢岸君

### ～新会員紹介～



#### 鈴木正二君

生年月日 : 昭和24年1月2日  
職業分類 : 一般貨物自動車運送業  
代表事業所 : 東静岡運送株式会社  
役職 : 代表取締役会長  
裾野市麦塚384-1  
TEL 993-2550・FAX 993-3156  
趣味 : 読書 映画鑑賞 DIY

2009～2010年度  
国際ロータリー会長  
ジョン・ケニー

ロータリーの未来はあなたの手の中に

## おめでとう

会員誕生日 古川君、田熊君  
入会記念日 原君、小野君、佐々木君、  
野田君、飯田君  
奥様誕生日 森崎君

## スマイルボックス

- ◆野口君、7月28日、三島西ロータリーゴルフ同好会有志、21会有志、岩崎会長21名のメンバーの皆さんに「昇進祝い」「励まし会」を開いていただき、誠に有難うございました。幸いにして21世紀で平成21年、21名の皆さんからのトリプル21のパワーを頂き大変感謝しております。これからも、地域社会のために奉仕の精神で精進してまいりますので、皆様の御指導を宜しくお願いいたします。
- ◆野口君、8月9日宮地靖久の葬儀に際し、三島西ロータリークラブの皆様のお心温まるご厚志に感謝申し上げます。
- ◆諏訪部(照)君、8月9日の家族例会では、会員の皆様のご協力により、60名もの参加者となりましたが、予定通り楽しく怪我人も無く終了することができました。誠にありがとうございました。

※紙面の都合で残りのスマイルは次号に掲載します。

## 卓話

### 会員増強月間

会員増強維持委員会  
委員長 石井 彰君

私は平成11年3月18日に入会をさせて頂きました。そのきっかけは、平成7年、私が三島青年会議所の理事長を務めていた時に、恒例の賀詞交歓会がありまして、来賓として各ロータリークラブ・ライオンズクラブの会長の皆様にも出席を頂いております。三島西ロータリークラブの会長は関本文彦先輩でした。平成台工業団地での顔見知りということもあり、その時に、石井さん西ロータリーに入ってよと笑顔で誘われました。三島西ロータリークラブには、商工会議所青年部の先輩もいましたので、関本さんのお誘いで、入るなら、三島西ロータリークラブだなと、その時に決めたような気がします。

入会してから2年半過ぎたころ、私は心の風邪をこじらし、残念ですが、退会をし、体調を整えることにしました。心の風邪は皆さんが想像する以上に辛く切ない病でしたが、徐々に良くなってきた頃、ロータリアンの方と街で顔を合わせるたびに、石井さん、元気になったらロータリークラブに戻ってきなよと多くの皆さんに声を掛けて頂きました。その時の励ましの言葉は今でもはっきり覚えております。その後、平成15年6月に再入会することができ、現在に至っております。一度退会した者が、再入会したのです。大変珍しいことだと思います。私がここで言いたいことは、再入会したのは、三島西ロータリークラブの皆さんは紳士淑女で魅力のある方が多かったからだと思います。しかし、バブル経済も弾け、中小零細企業にとりまして、大変厳しい経営環境になったこともあり、組織の在り方、存在意義も変化を待たせまいりました。ロータリークラブの運営方法も大変難しくなってきたことも現実です。その難しい中には、年齢の違い、世代格差もあります。それに伴い、価値観の違いは当然起こります。また、個人差の違いはありますが、40歳から50代後半の方は経営する会社を自分の肩にズッシリ背負いこみ、どうしても軸足は仕事に置きます。

この様に、環境も違い、年齢も違う組織運営は難しいのは当たり前のことです。でも折角、縁があり三島西ロータリークラブで出会ったのですから、このロータリークラブに入って良かったと思う組織にしたいものです。

私は日々思っているのは、経験豊富の人生の先輩には敬意を、年下の方には思いやりと優しさを心がけたいと思っております。

私たち人間は歳を重ね、様々の経験を積むにつれ、人として成長があるように、ロータリークラブも一年一年、歳を重ねるごとに品格のある成熟した組織に成長していくことが、もっとも大切なことだと思います。

ロータリークラブで好きな言葉は「四つのテスト」です。職業人としてのロータリアンの心構えを、一般の職業人にも理解できるように、簡潔かつ的確にまとめたものが、「四つのテスト」です。

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか  
本当に的確で対人関係や組織運営を良くするうえで大切な要素をすべて取り入れています。私は「四つのテスト」を大切にし、ロータリアンとして活動していきたいと思っております。

最後に、会員増強委員の遠藤真道先輩・黒田先輩と力を合わせ、一人でも多くの方に入会して頂き、素晴らしい人との出会いを増やせたらと思っております。皆様の協力を切にお願いし、私の卓話を終わらせていただきます。

(週報担当：瀬川幸信)